

北陸新幹線の早期認可を求める意見書

北陸新幹線は、日本海国土軸の形成や東海道新幹線の代替補完機能を確保し、さらに温室効果ガスの排出量削減など、重要な国家プロジェクトであり、国家的見地からも最優先に整備が図られるべき路線である。

また、高速交通体系の柱として、国土の均衡ある発展に寄与するとともに、地域の経済と活性化に大きく貢献するものであり、あわら市の発展にとっても必要不可欠のものである。

現在、平成26年度末の開業を目指して、長野・金沢間の整備が進められているが、県内では福井駅部を除いて、認可されず整備が進まない状況で、本市の計画的なまちづくりにも大きな影響が懸念されるところである。

ついては、市民の長年にわたる悲願である北陸新幹線の日も早い認可・着工が実現されるよう、次の事項を強く要望する。

記

- 1 前内閣において、未着工区間については夏までに検討することとしたが、新内閣においても引き続き着実に実行され、国の責任においてスピードをもって検討を進め、新規着工区間を決定すること。
- 1 白山総合車両基地から敦賀間について、平成22年夏までのできる限り早い時期に認可決定し、早期着工を図ること。
- 1 財源については、公共事業費の重点配分、貸付料や鉄道・運輸機構の利益剰余金の活用など、幅広い観点から検討し、積極的な事業推進が可能となるよう建設財源の確保を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年6月23日

あわら市議会

衆議院議長	横	路	孝	弘	殿
参議院議長	江	田	五	月	殿
内閣総理大臣	菅		直	人	殿
総務大臣	原	口	一	博	殿
財務大臣	野	田	佳	彦	殿
国土交通大臣	前	原	誠	司	殿
内閣官房長官	仙	石	由	人	殿